

回				
覧				

第104回臨時中央大会を行います。

公 示

組合規約第20条第1号に基づき、第104回臨時大会を下記のとおり開催します。

2013年2月1日

日本原子力研究開発機構労働組合

中央執行委員長 岩井 孝

記

大会期日：2013年3月8日（金）13:00～16:30

開催場所：中丸コミュニティセンター（東海村）会議室2

議 題：

第1号議案 第64期これまでの運動の総括と今後の課題

第2号議案 ストライキ権の集約

以 上

震災復旧や福島対応で、多くの職員がとんでもなく忙しい思いをしているのに、昨年7月から給与を平均7.8%も、一方的に削減されました。その上、退職金の大幅削減、職員宿舍の削減も、国家公務員にならって強制されそうです。

一人で文句をいうだけでは、よいことはありません。労働組合に参加して声を上げていきましょう。

研究問題対策部書記局員 再募集

労組では、原子力問題の議論を進めています。これからの原子力をどうしていくべきか、考えていくことが求められています。また、原子力機構としても、我が国唯一の総合原子力研究開発機関として、これからの原子力にどのようなビジョンを持ち、どのように仕事を展開していくべきか考えることが大切です。しかし、機構の中は、「福島」ばかりで、静かすぎます。せめて、労組の中では、活発な議論をおこないたいと思います。

また例年の春闘アンケートとは別に、原子力の問題や仕事の問題を中心に踏み込んだ問いかけをしたいと考えています。充実させるために執行部以外のお知恵を拝借したいと思います。

これまで行ってきた、自由討論のまとめ、そのほかの活動にもお手伝いいただくつもりです。そのような活動の強化のため、研究問題対策部書記局員を募集します。関心がある方、ぜひ声を上げてください。

関心のある方は、2月15日までに原研労組(genkenrouso@muse.ocn.ne.jp)までご連絡ください。

政権交代後の独立行政法人改革の扱いについて

民主党政権で、独立行政法人通則法の改定、科学技術関係の5法人統合などの行政改革案件が進められていましたが、自民・公明政権になって、一旦凍結されました。

これは、それらを行わないということではなく、新政権の考えで、案を作りなおそうということと考えます。

労組は特殊法人労連、科労協などと協力して、行政改革問題についての取り組みを続けていきます。

春闘アンケートの結果報告、その2

前回、賃金や国民的課題についてのアンケート結果を紹介しました。今回は仕事や、評価に関するアンケートの結果です。

選択回答以外に多くの意見が寄せられています。それらは、後日分会討議資料として配布します。

問 11. あなたは原発についてどのようにお考えですか。

- ①即時、廃炉とする ②できるだけ早くなくす ③古い原発から順次、廃炉にしていく
 ④古い原発を更新して発電量を維持する ⑤その他 ()

	目標を決め数年以内にできるだけ早くなくす	古い原発を更新して発電量を維持する	新しく増設して発電量を増やす	無回答	その他
昨年度	9%	経済状況をみながら徐々に減らし将来はなくす 40%	22%	4%	20%
今回	12%	できるだけ早くなくす	古い原発から順次、廃炉にしていく 32%	19%	23%
全体	7%	7%	33%	27%	20%
20代	7%	7%	33%	27%	20%
30代	48%	16%	36%		
40代	4%	13%	42%	25%	17%
50代	25%	22%	16%	19%	16%
60代	25%	25%	13%	38%	

問12. 新しい人事評価制度が実施され、5年目に入りましたが、その結果について、理解・納得できますか。

- ①納得できる ②どちらとも言えない ③納得できない ④わからない
 ⑤その他 ()

	納得できる	どちらとも言えない	納得できない	わからない	その他	無回答
昨年度	6%	36%	31%	21%	3%	2%
今回	1%	31%	36%	22%	9%	2%

執行部：新しい人事評価制度については、評価結果に対する異議申し立てがあったという情報などはありませんが、納得できないとする意見が3人に一人いるのに対して、納得できるという意見はわずかでした。寄せられた意見も、批判的意見がほとんどでした。人材活用・士気の向上のために役に立っているのか考えるべきでしょう。もっとも、評価と関係なく、とんでもない給与削減が行われたり、福利厚生も含め処遇改悪がつづいているので、それを何とかするのが先でしょうか。機構や労組に対する記述意見でも、現行の評価制度に対する強い改善要求が多くありました。

[問13. 東日本大震災、福島第1原発事故に対して、労組の取り組みや機構の取り組みなどに対して御意見・御要望等がありましたら記入して下さい。] に関しては、33件の意見が寄せられています。

機構に対して、「外面ばかり意識しているように感じる」とか「将来に対する見方が示されていない、あるいは考えていない」という批判が多くあります。また「福島事故から教訓を引き出し、機構がやるべきことを示すべき」という意見も多くあります。

労組の取り組みに対しては、評価する意見が多いですが、もっと積極的な取り組みを求める声もあります。

[機構の運営全般に対して御意見等がある方は、その内容を具体的に記入して下さい。] では、32件の記述がありました。

いろいろあって紹介しきれません。引き続き処遇の改悪に、生活とやる気の面で、機構経営の自主的な姿勢を求める声が多いです。仕事内容では、「福島対応」以外を求める声が多くありました。ビジョンを持つ、なければ作ることが今必要でしょう。

◀ 寄せられた意見は、基本的には選別せず、分会討議資料として配布する予定です。▶